



# めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和8年2月国際交流号  
ヨハネスブルグ日本人学校

## 今年度の最後の国際交流を無事に終了！次年度も宜しくお祈りします

今年度のヨハネスブルグ日本人学校の国際交流は、1月30日に行われたエルムパーク・リタイアメント・ビレッジの方々との交流をもって、全6回を無事に終えることができました。幼児施設や学校関係者との交流から始まった今年度の国際交流は、世代や立場の異なる多くの方々との出会いを通して、子供たちの学びを大きく広げるものとなりました。



その締めくくりが、高齢者の方々との交流であったことは、大変意義深いことであったと感じています。



高齢者の方々との交流では、英語で正確に伝えること以上に、相手の気持ちを思いやり、分かりやすく、丁寧に伝えようとする姿勢が求められました。子供たちは、「カントリーロード」の曲を日本語や英語で披露し、声の大きさや話す速さを工夫しながら、折り紙や手遊びなど日本文化の紹介にも取り組みました。思うように伝わらない場面でも、あきらめずに工夫しながら取り組む様子を見せてくれました。その姿からは、教室での学習を超えた確かな成長が感じられました。

また、交流の場では、高齢者の方々子供たちの言葉や活動に熱心に耳を傾け、笑顔で応えてくださる姿が多く見られました。世代を超えた触れ合いは、子供たちにとって大きな励みとなり、「自分たちの行動が誰かの喜びにつながる」という実感を得る貴重な機会となったようです。事後の振り返りでは、一人一人が発表し、準備などの難しさと同時に達成感や充実感を味わった様子が多く伝わってきました。



次年度の国際交流の相手校等との計画は既に始まっており、今から次年度また会えることを楽しみにしている子供たちがたくさんいることもうれしい限りでした。



在外教育施設において、現地の高齢者施設と国際交流を行う機会をもてることは、決して多くありません。今回の交流を通して、子供たちは語学力の向上だけでなく、相手を尊重する心、多様な価値観を受け入れる姿勢を育むことができました。この経験が、今後の学校生活や将来につながる大切な財産となることを願っています。温かな交流の余韻を胸に、来年度の国際交流への歩みも、着実に始まっています。

